

森林環境保全総合対策事業（拡充）

【平成27年度概算決定額 109,427（107,980）千円】

事業のポイント

多様で健全な森林環境の保全のための施策を総合的に推進するために必要な情報の収集・分析、調査、技術の開発、技術研修を実施します。

<背景>

（世界遺産に関する状況）

- ・我が国の世界自然遺産やその候補地について、森林の世界遺産としての価値の保全及び向上を図るために、民有林と国有林ならびに関係省庁との連携を図りつつ、必要な調査や対策の検討を推進する必要があります。

（花粉発生源対策に関する状況）

- ・国民的な広がりを見せているスギ等の花粉症については、関係省庁が一丸となって取り組むことが重要であり、当庁においてはスギ・ヒノキ花粉の飛散量の推定に加え、花粉症対策苗木の植え替えを推進するために花粉症対策苗木の供給拡大などを進める必要があります。

政策目標

森林・林業基本計画等に基づき、多様で健全な森林環境の保全を図り、森林の有する多面的機能の発揮を目指します。

<内容>

ア 世界遺産の森林生態系保全管理の推進

我が国の世界自然遺産及びその候補地において、森林生態系の保全管理に必要な調査等を実施します。特に、世界自然遺産の候補地である「奄美・琉球」の適切な森林の保全管理を図るための基礎となる植生分布図を作成するとともに、森林生態系の保全に配慮した森林の管理経営手法の開発を新たに実施します。

イ スギ・ヒノキ花粉の飛散量推定等の推進

スギの花粉飛散量予測の精度向上を図るためのスギ雄花着花状況調査を実施するとともに、ヒノキ花粉発生量の推定のため、これまでに開発された画像解析によるヒノキ雄花観測技術の実証調査を実施します。また、森林所有者や林業関係者に対する花粉発生源対策に係る普及啓発活動を実施します。

ウ 花粉症対策苗木の供給拡大

花粉症対策品種等の優良種苗の供給拡大のために、苗木生産者に対しコンテナ苗生産の技術研修、巡回指導を実施します。

<補助率>

ア 定額、委託

イ、ウ 定額

<事業実施主体>

民間団体等

<事業実施期間>

ア 平成25年度～29年度

イ 平成26年度～30年度

ウ 平成27年度～29年度

[担当課：林野庁森林利用課、整備課]